

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院・虎の門病院分院 腎センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身またはご家族等の診療情報を使ってほしくないとお考えの場合には、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

なお、この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として研究対象として扱わせていただきます。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2024年2月1日 ~ 2026年3月31日の間に、
虎の門病院または虎の門病院分院に通院し、慢性腎臓病に対してエンパグリフロジン（ジャディアンス[®]）の投与を受けられた方

【研究課題名】

慢性腎臓病患者におけるエンパグリフロジン投与前後の腎機能推移に関する後ろ向きコホート研究

【研究の目的・背景】

《目的》

本研究では、虎の門病院および虎の門病院分院に通院する慢性腎臓病を有する方のうち、エンパグリフロジンを投与された方を対象に、既存の診療情報を用いて、投与前後の腎機能推移を後ろ向きに検討します。

《研究に至る背景》

慢性腎臓病を有する方は腎機能の低下速度を緩やかにすることが重要な課題であります。エンパグリフロジンを含むSGLT2阻害薬は慢性腎臓病の方において腎保護効果が示されている一方で、長期的な実臨床データは限られています。そのため、本研究では、慢性腎臓病の方におけるエンパグリフロジン投与前後の腎機能推移を過去の診療録の記載を遡って調査し解析します。

【研究期間】

2026年5月26日 ~ 2027年6月30日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人

を識別することができないように、個人と関わりのない番号等に置き換えて研究を行います。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できない形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院分院腎センターにおいて、研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後には、個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、薬歴など

【研究代表者】

虎の門病院分院腎センター内科 医長 山内真之

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：虎の門病院分院腎センター内科 医長 山内真之

研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：虎の門病院腎センター内科 医長 山内真之

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報および知的財産権の保護等に支障がない範囲内で、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には、研究対象といたしませんので、2026年9月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も、診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院腎センター内科 山内真之

電話 044-877-5111(代表)

虎の門病院分院腎センター内科 大庭悠貴

電話 044-877-5111(代表)

虎の門病院分院腎センター内科 澤直樹

電話 044-877-5111(代表)

虎の門病院腎センター内科 山内真之

電話 03-3588-1111(代表)

虎の門病院腎センター内科 澤直樹

電話 03-3588-1111(代表)